

東海大学医学部東洋医学講座

責任者	猪子 英俊	Hidetoshi Inoko
准教授	新井 信	Makoto Arai
講師	荒井勝彦	Katsuhiko Arai
講師	日置智津子	Chizuko Hioki
非常勤講師	田代 眞一	Shin-ichi Tashiro
非常勤講師	張 民浩	Tamihiro Cho
非常勤講師	高野 昭人	Akihito Takano
兼任	泉 義雄	Yoshio Izumi
兼任	高士 将典	Masanori Takashi

◇沿革

東海大学医学部東洋医学講座はツムラ寄付講座として平成14年10月に東海大学医学部に設置された。平成17年4月に常勤医師として新井信助教授(平成19年より准教授)が赴任してから、いわゆる講座としての活動を本格的に開始した。翌18年1月には荒井勝彦講師、同年7月には日置智津子講師が赴任し、平成21年には学生教育充実のため、昭和薬科大学薬用植物園長の高野昭人先生が非常勤講師に着任した。これにより診療、教育、研究体制が充実し、現在に至っている。

東海大学医学部長の猪子英俊教授が東洋医学講座責任者を兼務している。

◇教育概要

東海大学では平成15年度から東洋医学講座が主講する東洋医学の学生講義が始まった。講義コマ数は当初は選択科目9時間、前後期2回だったが、平成19年度から一部が必修となり、平成20年度からは東洋医学授業時間数は多くの選択科目を含めて合計48時間となった。以下に平成21年度の講義概要を示す。

1年生では「医学入門」という必修講義の中で1時間の東洋医学の講義があり、それに関連した課題を自分たちで調べて6時間の発表会を行う。3年生は薬用植物と生薬に親しむことをテーマに昭和薬科大学薬用植物園見学などを行う計9時間の選択講義「東洋医学Ⅰ」がある。4年生になると必修科目として全員が鍼灸も含めた東洋医学概論を6時間学び、その後に筆記試験、さらに続いて少人数グループによる体験型実習を履修する。実習は4年生を3グループに分け、毎週1グループ(38～39名)をさらに3つの小グループ(12～14名)に分け、漢方・鍼灸・生薬の3種類の実習を各1時間、計3時間でローテートする。興味のある4年生に対しては、さらに選択科目として9時間の東洋医学

各論「東洋医学Ⅱ」および9時間の模擬患者を使ったPBL形式の演習授業「東洋医学Ⅲ」も用意している。6年生のクリニカルクラークシップでも12名の学生が1週間の外来見学を主体とした臨床実習を受けることができる。

東海大学医学部における漢方卒前教育のスタイルはこれでほぼ完成したと考えていて、今後はその内容の評価と再検討を行うとともに、卒後教育の導入を検討する必要がある。

◇診療概要

東海大学医学部附属病院では東洋医学科という独立した診療科として、漢方外来と鍼灸外来のいずれかを毎日午前午後1ブースで行っている。患者数は月間480～560名、鍼灸外来は50～70名で推移している。診療ブースは他科と並列に大学病院内にあるため、他科からの紹介も多く、難治性疾患患者が比較的多いことなどが特徴であろう。

平成21年に当科を初診した438名の患者の受診動機を分析すると、最も多かったものは他院からの紹介で全体の25%、次いで大学病院の他科からの紹介が18%、漢方外来チラシを見て受診した人が12%、知人や友人からの紹介が12%、東洋医学講座ホームページなどのインターネットを見て受診した人が10%、家族の紹介が10%、その他、漢方教室や東洋医学セミナーなどの患者向け普及啓蒙活動がきっかけとなって受診した人が4%、本学の学生や職員4%、受付案内で紹介された人が3%、テレビや新聞、雑誌などのメディアを見て来院した人が2%であった。昨年と比較し、他院からの紹介が大きく増えたことが特徴である。これは本大学病院に東洋医学科漢方外来を開設して4年経過し、その存在が地域に広まった結果と考えられる。

◇研究概要

日置講師は臨床に密着したテーマを主軸として漢方研究を展開しており、現在までに、生活習慣病を惹起する要因の東洋医学的探索を発端にして、予防策、治療法について検討している。方剤としては防風通聖散の抗肥満効果、特に内蔵脂肪減量効果やインスリン抵抗性改善効果につき着目し、主たる作用機序と臨床研究データは既に報告しているが、肥満症に関わる遺伝子と効果については中間点にある。今までの研究データをもとに、

他の方剤の脂質および糖代謝改善効果のつき予測実験の企画などを計画している。

また学内では、臨床系と基礎系が共同研究を行う「医学部研究ユニット」として、分子生命科学教室と共同で線虫の寿命延長測定システムを用いた大黃の寿命延長効果に関する研究を行っている。本学には抗加齢医学研究を目的としたライフケアセンターがあり、今後は遺伝子解析も含めた研究を進める計画である。

◇FD活動、研究会活動の概要

臨床漢方薬理研究会

臨床漢方薬理研究会は日置智津子講師が代表を務め、東海大学医学部東洋医学講座に事務局を置く。1993年に設立され、会員数は現在70余名、機関誌として『臨床漢方薬理研究会誌』を年1回発行し、UMINにも登録された公的研究会である。平成21年度には104回例会を静岡市・東海大学社会教育センター三保研修館にて1泊2日で開催した。

神奈川県4大学医学部FDフォーラム・漢方医学ユニット

神奈川県4大学医学部(北里大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、東海大学)が医学部漢方教育のための人材発掘およびカリキュラム標準化を目標に、昨年度、4大学医学部長を中心に漢方医学FDフォーラムを立ち上げた。その後、医学部教育全体の問題に広く捉えて「神奈川県4大学医学部FDフォーラム・漢方医学ユニット」と改称した。合同研修会を年2回開催し、平成21年7月には東海大学が主管校となり、第2回合同研修会を町田市で開催した。

◇普及啓蒙活動

患者向けの漢方勉強会である「漢方教室」を3ヶ月に1回、第3土曜日の午後に開催している。内容はテーマ別に疾患症状を漢方と鍼灸で解説し、質疑応答を受けるもので、本年度は3月、6月、9月、12月の4回開催して毎回50～70名程度の聴講者が来場した。

開設時から年1回開催してきた市民公開講座である「東洋医学セミナー」を、本年度は神奈川県西部地区の漢方ネットワーク基盤を築くことを視野に入れ、海老名総合病院と東名厚木病院の3施設共同で11月に厚木市で開催した。このような漢方地域連携ネットワークは漢方の普及発展のためには必要と考え、今後も積極的に展開していく予定である。

その他、ホームページ、院内チラシ等で普及啓蒙活動を積極的に行っている。

◇著書・分担執筆

- 1) 新井信：副作用. 専門医のための漢方医学テキスト(日本東洋医学会学術教育委員会編集): 124-130, 南江堂, 東京, 2009.10
- 2) 新井信：便秘・下痢・腹痛・腹部膨満感. 専門医のための漢方医学テキスト(日本東洋医学会学術教育委員会編集): 177-181, 南江堂, 東京, 2009.12

◇総説

- 1) 新井信: 東洋医学とリハビリテーション. リハビリテーション医学46(3): 196-201, 2009
- 2) 新井信: ICU患者への六君子湯の臨床応用. 日本集中治療医学会雑誌16(2): 142-144, 2009
- 3) 新井信: 総合医に必要な漢方の知識-common diseaseに対する漢方治療-症状・症候に対する漢方治療, 下痢・便秘. 診断と治療97(8): 1558-1561, 2009
- 4) 新井信: 漢方のイロハ. めまい・治療91(6): 1682-1684, 2009

◇論文

- 1) 日置智津子, 荒井勝彦, 高士将典, 新井信: 漢方医学基礎教育における漢方生薬実習の検討. 医学教育40(4): 271-278, 2009
- 2) Makoto Arai: Case report・Hachimijiogan for Impending Incontinence. J. Kampo Med.: 14, 2009

◇症例報告

- 1) 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅: 続・女子医大雑話39(176), ほてりの4症例. 漢方の臨床56(1): 107-116, 2009
- 2) 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信: 続・女子医大雑話40(177), 月経困難症の症例. 漢方の臨床56(3): 95-102, 2009
- 3) 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美: 続・女子医大雑話41(178), 茯苓四逆湯の2症例, 八味地黄丸の瞑眩. 漢方の臨床56(4): 146-150, 2009
- 4) 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子: 続・女子医大雑話42(179), 肛門・会陰痛の3症例. 漢方の臨床56(5): 74-79, 2009
- 5) 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾: 続・女子医大雑話44(180), 過敏性腸症候群に半夏瀉心湯ほか. 漢方の臨床56(6): 45-48, 2009
- 6) 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅: 続・女子医大雑話44(181), 学会で報告した3症例. 漢方の臨床56(7): 30-38, 2009
- 7) 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井

- 信：続・女子医大雑話45(182),慢性頭痛の症例.漢方の臨床56(8):75-82,2009
- 8) 盛岡頼子,岡部竜吾,溝部宏毅,新井信,久米由美:続・女子医大雑話46(183),桂枝茯苓の6症例.漢方の臨床56(9):59-65,2009
 - 9) 岡部竜吾,溝部宏毅,新井信,久米由美,盛岡頼子:続・女子医大雑話47(184),慢性閉塞性肺疾患(COPD)の3症例.漢方の臨床56(10):111-115,2009
 - 10) 溝部宏毅,新井信,久米由美,盛岡頼子,岡部竜吾:続・女子医大雑話47(185),鼻汁と冷えに苓姜朮甘湯ほか.漢方の臨床56(11):89-92,2009
 - 11) 新井信,久米由美,盛岡頼子,岡部竜吾,溝部宏毅:続・女子医大雑話49(186),皮膚疾患の2症例.漢方の臨床56(12):100-104,2009
 - 12) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(6),带状疱疹後神経痛.漢方の臨床56(1):149-152,2009
 - 13) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(7),関節リウマチ.漢方の臨床56(2):109-114,2009
 - 14) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(8),冷え性.漢方の臨床56(3):131-134,2009
 - 15) 荒井勝彦,高士将典:東海鍼灸医案(9),FDによる食欲不振.漢方の臨床,56(4):151-156,2009
 - 16) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(10),逆子.漢方の臨床56(5):97-100,2009
 - 17) 荒井勝彦,高士将典:東海鍼灸医案(11),頸部の凝り.漢方の臨床56(7):97-101,2009
 - 18) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(12),足底痛.漢方の臨床56(8):91-94,2009
 - 19) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(13),頭痛.漢方の臨床56(9):133-136,2009
 - 20) 荒井勝彦,高士将典:東海鍼灸医案(14),漢方・鍼灸併用して妊娠・出産が可能となった不妊症の1例.漢方の臨床56(10):111-116,2009
 - 21) 高士将典,荒井勝彦:東海鍼灸医案(15),膝痛.漢方の臨床56(12):141-145,2009
- ◇その他の執筆
- 1) 新井信:漢方事例勉強会①胃腸の症状編-主訴:胸やけと胃痛-.武田薬報456,2009
 - 2) 荒井勝彦:便は体のバロメーター便通異常をスッキリ解消.毎日が発見66:96-99,2009
 - 3) 新井信:漢方事例勉強会②胃腸の症状編-主訴:胃もたれ-.武田薬報457,20-24,2009
 - 4) 新井信:トピックス-第26回 和漢医薬学会学術大会-大会テーマ:明日の和漢医薬学を創る(人材育成).メインテーマ企画2:和漢医薬学(薬学系)の人材育成 演者:新井信 追加発言「医師の立場から」.漢方薬学雑誌The Journal of Kampo Medicine & Pharmacy 17,2009
 - 5) 日置智津子:肥満に弱い日本人と防風通聖散 頭脳と神経を使う人のために.週間教育PRO 38:535,2009
 - 6) 日置智津子:-21世紀日本ルネッサンス-豊かな成熟した少子高齢化社会に向かって(14) 頭脳と神経を使う人のために.週間教育PRO 39:536,2009
 - 7) 新井信:漢方事例勉強会③胃腸の症状編-主訴:便秘-.武田薬報 458:20-24,2009
 - 8) 新井信:漢方シリーズ 臨床で用いられる漢方・生薬①生薬の薬効と処方 of 効能効果.薬事日報 10736:5,2009
 - 9) 新井信:漢方シリーズ 臨床で用いられる漢方・生薬②臨床における漢方薬の運用方法.薬事日報 10741:5,2009
 - 10) 新井信:臨床で用いられる漢方・生薬③生薬の組み合わせによる運用(1) 桂枝・甘草.薬事日報 10759:5,2009
 - 11) 新井信:臨床で用いられる漢方・生薬④生薬の組み合わせによる運用(2) 人參・黄耆.薬事日報 10769:9,2009
 - 12) 新井信:新井信(座長),中村東一郎(座長),小橋重親,犬塚央,木村英夫:急性ウイルス性胃腸炎への漢方治療.日本東洋医学雑誌60(1):1-23,2009
 - 13) 新井信,日置智津子,福澤素子,吉田麻美,日置智津子:座談会:内分泌代謝疾患と漢方.漢方の臨床56(10):1641-1666,2009
- ◇特別講演・教育講演・シンポジウム・招待講演
- 1) 猪子英俊,新井信,荒井勝彦,日置智津子:メディカルシンポジウム2009,2009.2,東京
 - 2) 新井信:臨床で用いられる漢方・生薬について.薬用植物フォーラム2009,2009.7,つくば
 - 3) 日置智津子:アトピー性紅皮症の治療における生薬軟膏の評価.第17回クリニカルファーマシーシンポジウム,2009.7,京都
 - 4) 新井信:第305回東北大学大学院薬学研究科セミナー:特別講演 高齢化社会における漢方治療の役割.2009.8,仙台
 - 5) 日置智津子:現代医学や医療に生かすための漢方を探る-薬剤師・医師 職域連携がもたらす実学的研究-.天然薬物アカデミー幕張シンポジウム,2009.8,千葉
 - 6) 新井信:メインテーマ企画1:和漢医薬学(医学系)の人材育成.第26回和漢医薬学会学術大会,2009.8,千葉
 - 7) 新井信:メインテーマ企画2:和漢医薬学(薬学系)の人材育成.第26回和漢医薬学会学術大会,2009.8,千葉

- 8) 新井信:もう1つの医学「漢方」～消化器病を考える～.第48回日本薬学会東北支部大会,2009.10,仙台

◇学術講演・その他の講演

- 1) 日置智津子:日本伝統獣医医学会 漢方講座:肥満症,糖尿病の治療 防風通聖散など.2009.1,東京
- 2) 日置智津子:日本東洋医学会関東甲信越支部栃木県部会市民公開講座:メタボリックシンドロームと漢方.2009.2,宇都宮
- 3) 新井信:三重東洋医学教育研究会:総論,実習,上部消化管,プロブレムリスト,演習.2009.3,津
- 4) 新井信:第6回後期レジデントのための漢方連続講座 in Chiba:プロブレムリストを使う新しい漢方の研修方法.2009.3,幕張
- 5) 新井信:足柄上医師会学術講演会:呼吸器.2009.4,松田
- 6) 新井信:第104回臨床漢方薬理研究会:プロブレムリストを使う新しい漢方の習得方法.2009.5,静岡
- 7) 新井信:消化器領域の漢方治療.第21回南部漢方研究会学術講演会,2009.5,青森
- 8) 新井信:もう1つの医学～漢方.医学生のための卒前セミナー.(社)日本東洋医学会,2009.8,東京
- 9) 新井信:産婦人科領域における漢方治療(気・血・水について).座間・綾瀬・海老名産婦人科会学術講演会,2009.9,海老名
- 10) 新井信:中野区内科医会講演会:呼吸器.中野区医師会館,2009.10,中野
- 11) 新井信:海老名内科医会講演会:呼吸器.医療センター,2009.10,海老名

◇研究会・学会発表

- 1) 日置智津子:艾葉香気成分のアトピー性皮膚炎に対する効果の検討-4種の生薬を含む軟膏の調製-:ヘアレスマウスにおけるアトピー性皮膚炎様症状に及ぼす生薬成分含有軟膏の影響.日本薬学会第129回年回.2009.3京都
- 2) 新井信:東海大学医学部における東洋医学教育-内容に一貫性を持たせた漢方教育の実践-.第60回日本東洋医学学会学術総会.2009.6東京
- 3) 荒井勝彦:漢方薬にて奏功した新規発症持続性連日性頭痛2例.第60回日本東洋医学学会学術総会.2009.6東京
- 4) 日置智津子:東海大学医学部における東洋医学教育-東洋医学入門における生薬薬剤の導入と検討-.第60回日本東洋医学学会学術総会.2009.6東京

- 5) 高士将典:東海大学医学部における東洋医学教育-鍼灸の系統的な講義と実習の実践-.第60回日本東洋医学学会学術総会.2009.6東京
- 6) 高士将典:当会大学医学部における必修科目・鍼灸実習成果(第2報).第58回(社)全日本鍼灸学会.2009.6東京
- 7) 新井信:気血水に特化した東洋医学教育の成果.第41回日本医学教育学会大会,2009.7,大阪
- 8) 日置智津子:漢方医学教育におけるチーム型生薬実習の検討.第41回日本医学教育学会大会,2009.7,大阪
- 9) 日置智津子:漢方医学初期教育における医療漢方薬学の導入.和漢医薬学会,2009.8,千葉
- 10) 新井信:十味敗毒湯加大黄を長期服用させて改善したアレルギー性皮膚炎の1例.日本東洋医学会第66回関東甲信越支部学術総会,2009.9,栃木
- 11) 荒井勝彦:黄体機能不全に対し,漢方治療と鍼灸を併用して妊娠出産に成功した1例.日本東洋医学会第66回関東甲信越支部学術総会,2009.9,栃木
- 12) 日置智津子:東洋医学教育のための医療漢方薬学の試みⅠ.日本東洋医学会第66回関東甲信越支部学術総会,2009.9,栃木
- 13) 高士将典:イレウス術後に生じた消化器不定愁訴に鍼灸治療が奏功した1例.日本東洋医学会第66回関東甲信越支部学術総会,2009.9,栃木
- 14) 新井信:東海大学医学部4年生の漢方に関する意識調査-5年間の推移-.第19回日本東洋医学会関東甲信越支部 神奈川県部会学術大会 第33回神奈川県東洋医学会,2009.10,神奈川
- 15) 荒井勝彦:鍼灸治療の実態と未来.第19回日本東洋医学学会関東甲信越支部 神奈川県部会学術大会 第33回神奈川県東洋医学会,2009.10,神奈川

◇学生講義

〈東海大学〉

- 1) 1年生必修(6コマ):医学入門・未来の医学.新井信
- 2) 3年生選択(9コマ):東洋医学Ⅰ.荒井勝彦,日置智津子,高野昭人,田代眞一
- 3) 4年生必修(6コマ):臨床医学B・東洋医学.新井信
- 4) 4年生必修(9コマ):東洋医学実習.新井信,荒井勝彦,日置智津子,高士将典
- 5) 4年生選択(9コマ):東洋医学Ⅱ.日置智津子,張民浩,荒井勝彦,日置智津子
- 6) 4年生選択(9コマ):東洋医学Ⅲ.新井信
- 7) 6年生選択(1週間):クリニカルクラークシップ・東洋医学.新井信,荒井勝彦

〈その他の大学〉

- 1) 日本薬科大学薬学部4年生. 新井信
- 2) 藤田保健衛生大学医学部3年生. 新井信
- 3) 藤田保健衛生大学医学部4年生. 新井信
- 4) 新潟大学医学部6年生. 新井信
- 5) 早稲田大学人間科学部4年生. 新井信
- 6) 名城大学薬学部4年生. 日置智津子
- 7) 東北大学薬学部4年生. 新井信
- 8) 東海大学医療技術短期大学2年生. 新井信

◇学会・研究会開催

- 1) 臨床漢方薬理研究会第104回例会. 5月16日(土)～5月17日(日), 静岡
- 2) 神奈川県4大学医学部FDフォーラム漢方医学ユニット・第2回合同研修会. 7月4日(土), 町田

◇普及・啓蒙活動

- 1) 第16回漢方教室, 咳に効く漢方-喘息や気管支炎などの症状を緩和する-. 2009. 3. 21, 東海大学医学部講堂
- 2) 第17回漢方教室, 赤ちゃんが欲しい-漢方で全身のバランスを正す-. 2009. 5. 16, 東海大学医学部講堂
- 3) 医学部ランチョンセミナー, What is Kampo? 2009. 5. 26, 東海大学医学部
- 4) 新井信: NHK文化センター・町田教室: こんな時には漢方を. 町田・NHKカルチャーセンター, 2009. 8, 町田
- 5) 新井信: 東京都薬用植物園 薬草教室: 夏バテと漢方. 2009. 8, 東京都薬用植物園
- 6) 第18回漢方教室, 漢方でプチダイエット-もっとスリムになりたい-. 2009. 9. 19, 東海大学医学部講堂
- 7) 第19回漢方教室, かぜには早めの漢方を-冬を元気で乗り越えたい-. 2009. 12. 19, 東海大学医学部講堂
- 8) 東洋医学セミナー 2009, 講演1: 漢方と古(いにしえ)の賢い養生の話, 漢方薬が得意とする疾患の症例報告, 講演2: 血管は若返る! -動脈硬化から命を守る漢方-. 2009. 11. 7, 厚木

◇マスコミ(一般)

- 1) 新井信: TBSラジオ, 養命酒・健康談話室, 漢方外来(全4回). 2009. 4